

舟形本町地区地域づくり協議会合同防災訓練

9月3日、舟形本町地区地域づくり協議会合同防災訓練が開催されました。大地震を想定した防災訓練で、情報収集・伝達訓練や安否確認および避難誘導訓練を行いました。

舟形本町地区地域づくり協議会（会長 沼澤靖浩さん【舟形第4町内会長】）は、舟形第1・3・4町内会で構成されていて、伝統行事の継承や各町内会が抱える課題の解決に向け、連携して話し合いや取り組みを行なっている組織です。



町内から中央公民館への避難

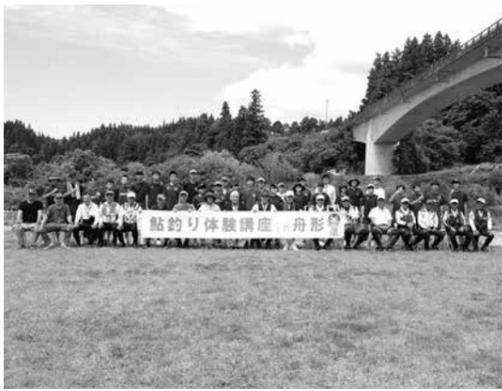


プライベート TENT 設置の実演

実践的な訓練として、協議会と町職員合同での避難所開設・運営訓練を実施し、避難所での役割や物品、手順などを確認しました。また、実際にプライベート TENT を設置するなどの実演も行いました。

訓練後の講評の中で鏡副町長は、「災害への備えとして訓練こそが最大の防御策です」と話し、各自の防災意識を高めるとともに、互助の行動を確認できる機会となりました。

鮎釣り体験講座



8月27日、一の関大橋河川敷で、舟形中学校の生徒と町職員を対象に鮎釣り体験講座が開催されました。この講座は、鮎釣りをとおして郷土愛の醸成と文化の継承を図ることを目的とし、町と最上小国川清流未来振興機構の共催、また小国川漁業協同組合、フィッシンググチャツカ屋、櫛がまかつの協賛を得て開催されました。参加した浅沼恵太さん（舟形中3年）は「川での釣りは気持ち良い。鮎を釣ることができて楽しかった」とうれしそうに話していました。

県知事・県教育委員会教育長表彰

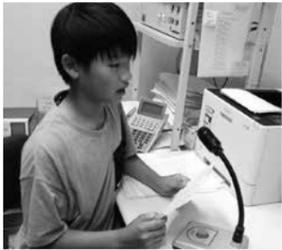
舟形町教育委員の木島広人さん（洲崎）が、令和5年度山形県知事・山形県教育委員会教育長表彰を受賞されました。

木島さんは町教育委員として10年の長きにわたり、町教育行政の発展に大きく貢献されました。



セーブメディア週間

8月28日～9月3日、のセーブメディア運動期間にあわせ、高橋遥真さん（舟形小6年）が防災無線で呼びかけました。「この期間にメディアと接する時間を減らし、1分でも長く学習にあてたい」と意気込みを話していました。



災害時における飲料水の提供に関する協定締結式



8月21日、町と榎小野商會ウォーターネット山形月山で災害時における飲料水の提供に関する協定締結式が行われ、同社の庄司幸雄代表取締役社長と町長が協定書に署名しました。大規模災害が発生した際、町の要請に応じてウォーターサーバー10台と飲料水ポトル12リットル入り100本を無償で提供されます。災害時の避難所や被災者への飲料水の提供は、必要不可欠なもので、これからも町民の安全・安心のための備えを進めていきます。

佐藤キクエさん 長寿褒章



9月14日、今年数えて100歳を迎えられた佐藤キクエさん（太折）へ、町から長寿のお祝いが贈られました。佐藤さんは現在ホームヘルパーを利用しながら、自宅で家族と一緒に暮らしされており、好き嫌いなくなんでも食べられ、健康状態は良好とのことでした。

この制度は、長寿を祝福するため数え100歳になった町におおむね50年以上住んでいる方にお祝い金と賀詞を贈るものです。ますますのご長寿をお祈りします。

シルバー人材センター 地域貢献活動

9月9日、（公社）新庄最上地域シルバー人材センター班長の阿部孝行さん（西堀）を中心とした舟形班の12名のみなさんより、地域貢献活動として老人いこいの家「清流荘」の草刈りを行なっていたいただきました。このボランティア作業は、毎年行なっていたいただいています。



障がい者差別解消等に係る理解を深めるための研修会

8月22日、町職員約30名が福井県立大学教授の佐野治氏による研修会に参加しました。この研修は共生社会の実現に向けた取り組みを行う上で、不当な差別的取扱いの禁止や、合理的配慮の提供など、障がいを持つ方への理解をより深めることを目的に開催されました。



佐藤真智子氏（長尾） 県防犯協会連合会会長 県警察本部長表彰



多年にわたり地域安全活動に尽力し安心なまちづくりに貢献された功績に対し表彰されました。

奉納さばね山相撲大会



8月24日、猿羽根山相撲場でさばね山相撲大会が行われ、舟形小学校の5・6年生が参加しました。

ほほえみ保育園に 日本赤十字銀色有功章



ほほえみ保育園は日本赤十字に15年間加盟し、資源回収や自然体験などの活動を行なってきました。